2014年7月：JaCVAM活動マンスリーレポート

NO.	項　　目	記　載　内　容
単行本		
1	著者名	小島　肇
	書名	化粧品・医薬部外品　安全性評価試験法
	出版社名，発行地，年号，ページ	株式会社じほう，東京（2014）pp1-138
	掲載内容	化粧品および医薬部外品の安全性評価試験法の留意点について，動物実験代替法の最新の動向も加えながら解説した．
国内学会		
1	発表者名	小島　肇
	演題名	シンポジウム”*in vitro* 毒性試験としてのiPS細胞利用の有用性と留意点”序論
	学会名，発表年月及び場所	第41回日本毒性学会学術年会（2014.7.2-4）（神戸）
2	発表者名	岩瀬裕美子[*1]，細井一弘[*2]，尾上誠良[*3]，若栗忍[*4]，山本敏誠[*1]，川上哲[*5]，松本康浩[*6]，戸田嗣人[*7]，大崎尚人[*8]，高木広憲[*8]，中村和市[*4]，小島肇
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[*1]田辺三菱製薬(株)，[*2]参天製薬(株)，[*3]静岡県立大学大学院薬学研究科，[*4](一財)食品薬品安全センター，[*5]旭化成ファーマ(株)，[*6]あすか製薬(株)，[*7]塩野義製薬(株)，[*8]大正製薬(株)
	演題名	ReactiveOxygen Species（ROS）アッセイ他施設バリデーション：総括と推奨プロトコール
	学会名，発表年月及び場所	第41回日本毒性学会学術年会（2014.7.2-4）（神戸）

3	発表者名	伊藤浩太[*1], 榊原隆史[*1], 六川潤美[*1], 古川正敏[*1], 佐々木啓[*1], 平賀　武夫[*2], 小島　肇, 松浦正男[*1]
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[*1](株)化合物安全性研究所, [*2]酪農学園大学　獣医学
	演題名	牛角膜を用いた混濁度度および透過性試験法(BCOP法)による化粧品・医薬部外品の眼刺激性の検討
	学会名, 発表年月及び場所	第41回日本毒性学会学術年会(2014.7.2-4)(神戸)
4	発表者名	山口宏之[*1,2], 小島　肇, 竹澤俊明[*1]
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[*1]農業生物資源研究所, [*2]関東化学株式会社
	演題名	Vitlige-EIT法:経上皮電気抵抗値を指標とした高感度な*in vitro*眼刺激性試験法
	学会名, 発表年月及び場所	第41回日本毒性学会学術年会(2014.7.2-4)(神戸)
5	発表者名	小島　肇
	演題名	動物実験代替法を用いた安全性評価とその問題点
	学会名, 発表年月及び場所	第3回加計学園コスメティックサイエンスシンポジウム(2014.7.12)(千葉)